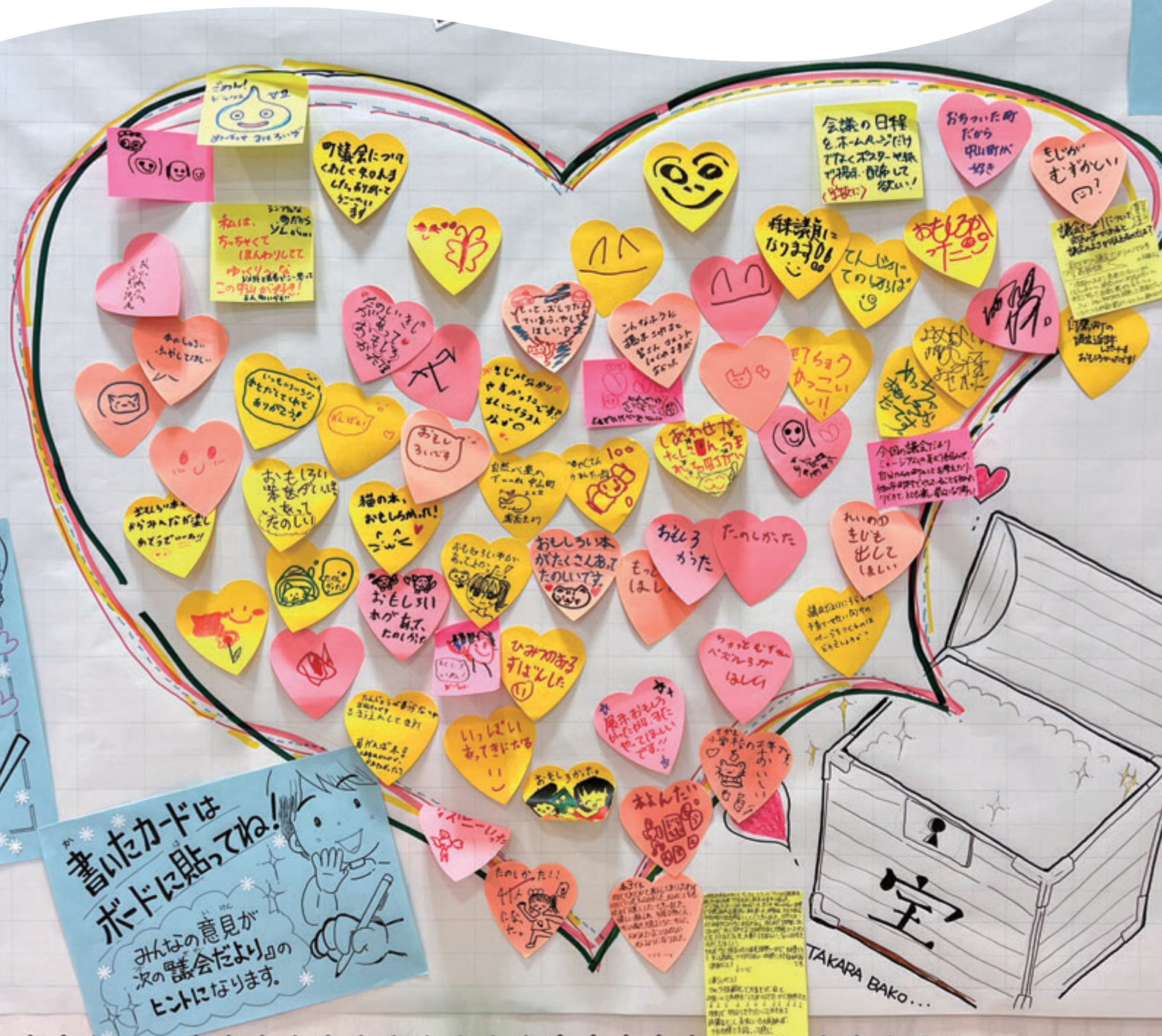


“いま”を知る。“これから”を考える。

な  
か  
や  
ま

# 議会だより



- P2 **特集** 農業者との意見交換会
- P4 新年度予算 新しいまちづくりが始動

「自慢できてずっと存在し続けてほしい故郷」  
～ほんわ館「議会だよりミュージアム」に寄せられた声より～  
⇒関連記事 P 24

# 町の基幹産業である 農業を支える

## 意見交換会

中山町は農業者への独自の支援や受け入れ体制が他よりも不十分なため、新規就農は勧められない。法人も同じで、補助の条件や内容が良くなければ、移転する可能性もあると思う。まずは町も農業者も議員もそれぞれできることをやっていく必要があるのでは。また、自分達のような中堅よりも若手の新規就農者にしぼって手厚く補助してほしい。

農業で法人化しており、正社員2名を雇用し、今後も拡大していきたい。



あおやぎひでひこ  
青柳秀彦氏



すずきなおと  
鈴木直人氏

隣町では、住居・農地・作業場・指導と、受け入れ体制が整っている。中山町でも同じような体制をつくれなから。

果樹専門で新規就農し、10年が経った。

### 石っころ会の皆さんに聞いた中山町の良いところ

土地が肥沃（ひよく）で、種類のにも豊かな作物がとれる。水利が整っていて稲作の作付けがしやすい。

### 町以外の動きについて 情報を少しでも早く知りたい

消費税の処理の仕方がどうなるのか、早く知りたい。

今後、米価がどうなるのか不安である。

### 今後の動き

今回でた石っころ会の皆さんからの意見は、3月9日に開催した厚生産業常任委員会において担当課に伝えました。課題については、解決に向けて、ともに話し合いを進めていきます。

また、今後も新規就農者のグループや農業関連の他団体とも意見交換会を実施していきたいと考えています。

### 石っころ会の活動

長崎小学校への支援として、5年生を対象に会員の農地を使用し、田植えから脱穀までの作業を一緒に行い、農業に触れながら、学習支援を行っている。また、なかやま保育園で行われる園児との餅つきに協力し、幼児と交流の機会を作っている。



はしもと おさむ  
橋本 治氏(会長)

ほかの市町村と比べて、支援面・情報面で、同じスタートラインに立てていない。町の公式LINEに産業の項目を設置出来ないか。

果樹農家でブドウを栽培している。現在、「石っころ会」の会長として運営を行っている。メンバーは、町の新規就農支援チームにも参加しており、石っころ会としても若手農家とベテラン農家をつなぐパイプ役として協力していきたい。



しょうじりょうた  
庄司亮太氏  
(副会長)

農業のなり手不足が問題になっているが、新規で農業をやろうと思っても、住居・農地・作業場が必要で、軌道に乗るまでの支援が中山町の課題であると思う。

転作組合でも活動している。



ほそやあきお  
細谷章男氏

町では農業関連の地域おこし協力隊を募集しているが、就農支援体制は整っているのか。また、農業の「第三者継承」を町が中心となって行うことは可能なのか。

Uターン就農で水稲・施設園芸・果樹の栽培を行っている。



たかはしとしはる  
高橋寿治氏

新規就農者や地域おこし協力隊から定住してもらえるように、不動産会社も入れて受け入れ体制をつくってはどうか。農業への支援が上手くいっている市町村の真似をしてはどうか。また、資材高騰に対し、町でも対応してもらえるとうれしい。

10代続く農家で水稲・野菜を栽培している。また栽培した野菜で漬物を作っている。

# 3月定例会が開催されました

今定例会では、令和8年度中山町一般会計・各特別会計・下水道事業会計予算と令和7年度の補正予算、条例の制定等、人事案件などが審議されました。すべて原案のとおり、可決・承認・同意されました。（議案一覧はP8～9）

## 令和8年度予算概要

### 一般会計 62億円（前年度比4.1%増）

今年度の主な内容としては、公共施設再配置計画基本計画の策定に着手し、具体的なまちづくりが始まります。また「こども家庭センター」を中心に各種子育て支援施策の推進や中学校体育館（避難所）への冷房設備の設置など、安心・安全なまちづくり、さらに新規就農者や新規開業者への支援、「山形芋煮会検定」の実施など、産業や観光の充実を目指した事業の予算が計上されました。（⇒詳細はP6～7）各課ごとに質疑が行われ、採決の結果すべて原案どおりに可決しました。



### 特別会計 合計 28億6516万2000円

国民健康保険特別会計	12億5962万1000円（前年度比10.2%増）
後期高齢者医療特別会計	2億3054万9000円（前年度比14.1%増）
介護保険特別会計	13億7499万2000円（前年度比0.2%増）

### 下水道事業会計

収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
4億4409万6000円	4億4409万6000円	3億4223万9000円	3億9250万7000円

### 予算質疑

主な質疑内容は次のとおりです。一部を抜粋して掲載しています。

#### 地域おこし協力隊に選ばれる町に

**Q** 募集について目的の明確化や受け入れ体制を整えるべきでは。また、応募がなくともその政策を進めていくという町の姿勢が必要と考えるが。

**A** 今回は生涯学習や農業分野など、目的を明確にして募集し体制を整えている。問い合わせや応募もあり、着任につながればと考えている。

#### 町公共交通の方向性は

**Q** 町営バスは、収入に対して経費が大幅にかかっている。今後利用者が少なくなっても町営バスの運営を続けるのか。

**A** 町営バスだけだと収支はマイナスだが、利用者から存続を希望する声もある。町営バスの補完として、タクシー利用助成事業を試行し、本格実施に移行する。今後も町に合った公共交通を目指し調査や検討を行っていく。

#### 補助だけでなく指導も

**Q** シルバー人材センター補助金について、センターの現状を把握しているのか。予算の増額において聞き取りを行ったのか。

**A** 決算状況を根拠に補助金を増額した。シルバー人材センターの指定や監督は県が実施している。町に利用者等からご意見があった場合はすぐに情報共有している。

#### 産後ケアの周知を

**Q** 産後ケアについて昨年度から予算増額となっている。利用者の状況は。内容も充実しており周知を続けてほしい。

**A** 徐々に利用者が増えていることから予算を増額している。今後も周知を行っていく。

#### 町イベントへの呼び込みの仕組みは

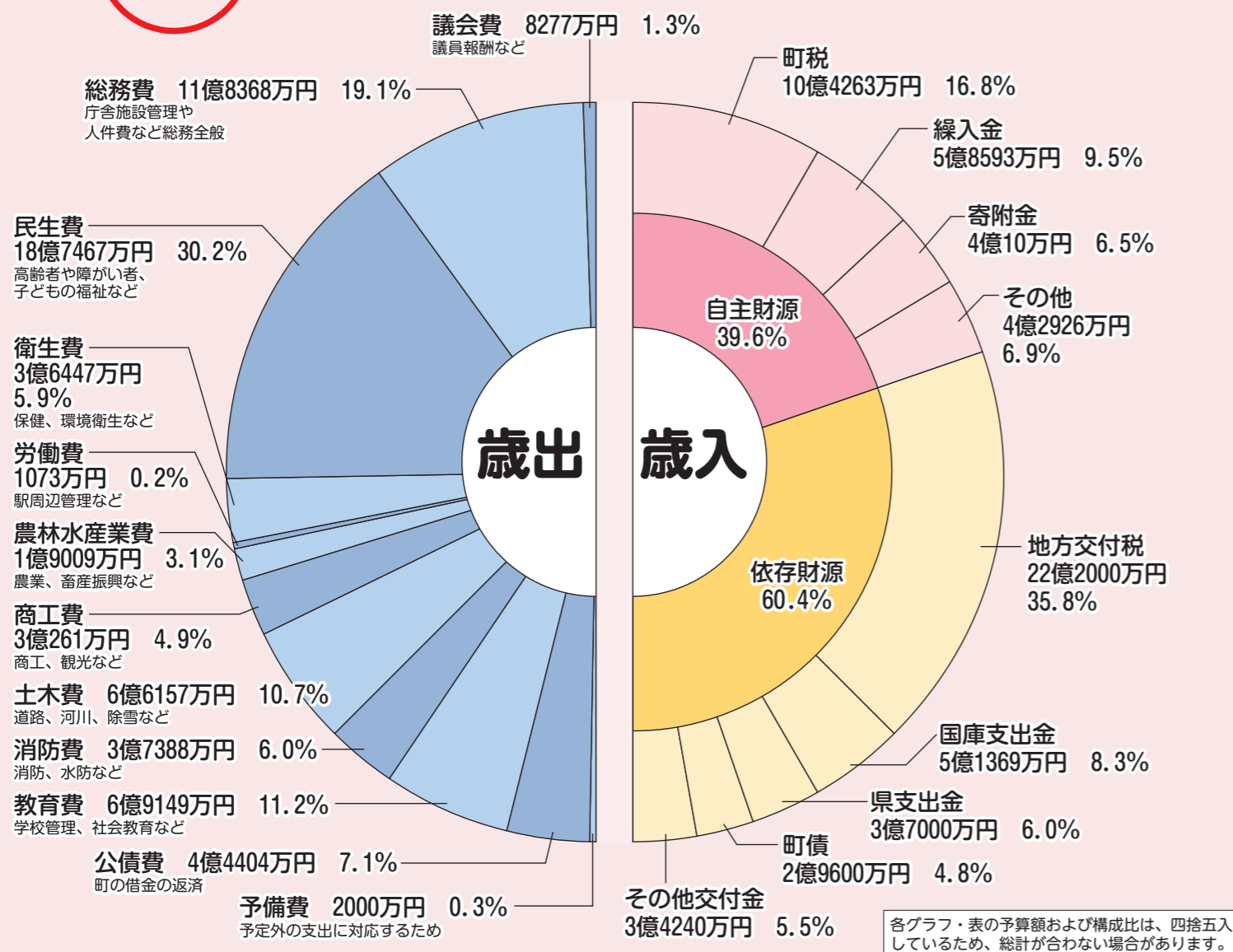
**Q** 「山形芋煮会検定」の目的は何か。ウェブ上で行われるこの検定で、中山町の認知度向上を図り、町のファンを増やし、元祖全国芋煮会への誘客につなげたい。

**A** イベントへの呼び込み等の仕組みも予算に含まれるのか。検定の予算には含まれていないが、観光協会補助金の予算の中で、他のイベントも含め、連携してPRや誘客を図っていく。

# 新しいまちづくりが始動



## 一般会計 総額 62億円



## 令和8年度 予算の目玉

### ④ 快適なまちづくり

- 公共施設再配置計画基本計画の策定 1491万円
- 立地適正化計画の改定 1043万円
- タクシー利用助成業務委託 360万円
- 空き家対応業務委託 129万円 (拡充)
- 公園施設整備等工事 680万円 (新規)
- 道路舗装改修等工事 1億4993万円

### ① 子育てと福祉のまちづくり

- なかやま保育園の給食(主食・副食)提供 1696万円
- 高齢者インフルエンザワクチン接種への費用助成 820万円 (拡充)  
75歳以上を対象に、高用量ワクチン接種についても費用助成
- 小児インフルエンザワクチン予防接種への助成増額 238万円 (拡充)
- 障がい福祉計画の策定 495万円 (新規)  
第8期中山町障がい福祉計画・第4期中山町障がい児福祉計画の策定

### ⑤ 人を育むまちづくり

- 学校支援事業 7848万円
- 学校給食費の無償化 2351万円
- 認定地域クラブ活動費補助金 254万円(新規)

### ⑥ 協働によるまちづくり

- ふるさと納税の推進 4億12万円
- 地域活性化起業人の活用 1900万円 (拡充)
- 町民企画事業補助金 225万円

### ③ 活気のあるまちづくり

- 芋煮会の日推進事業 337万円 (新規)  
- 「山形芋煮会検定」の実施等 -
- 農業の活性化に向けて  
・ 遊休農地解消支援事業補助金 24万円 (新規)
- ・ 新規就農者伴走支援業務委託 196万円 (新規)
- ・ 農林水産物等災害対策事業費補助金 105万円 (新規)
- 開業支援事業費補助金 640万円

### ② 安心のまちづくり

- 垂直避難拠点整備  
- 舗装、照明、水場を設置 - 4338万円 (拡充)
- 避難所施設環境改善事業  
- 中学校体育館に冷房設備を設置 - 5729万円 (新規)
- 防災行政無線更新調査・設計 1080万円 (新規)



中央児童遊園には熱中症対策ミスト装置とスクエアベンチを設置予定 (図は完成イメージ)

**Q** 公園施設整備等工事について、どんな内容か。  
**A** 町浦児童遊園は、地区から要望があり、老朽化したベンチや遊具を更新する。今後も要望があった場合は地区や利用者と相談して決めたい。

#### 公園の遊具等改修へ利用者の声を

**Q** LED照明の寿命は約10年。町内施設や道路照明等において、設置の際に計画的な更新を考えるべきだと思いがどうか。また、道路照明のポールの点検はしているのか。  
**A** 道路照明についての更新計画は、今のところない。ポールについては、令和6年度に簡易検査を行い、その後も点検しており、異常はない。

#### 設置に合わせて更新の計画を

**Q** 観光協会への補助金が増額しているが、その理由は。  
**A** 主な増額の理由は、元祖全国芋煮会にかかる経費の部分である。イベント保険料や会場設営の外部委託スタッフ費用において前年度予算より増額が見込まれるため。

#### 観光協会への補助金増額の理由は

住民票コンビニ交付利用状況

	窓口	コンビニ	コンビニ利用率
R6計 (R6.12~R7.3)	990枚	169枚	14.58%
R7現計 (R7.4~R8.2)	1984枚	802枚	28.79%

**Q** 証明書のコンビニ交付が始まったが、コンビニでの交付数はどのくらいか。また窓口での交付数に変化はあるか。  
**A** 昨年7月からコンビニ交付手数料を引き下げたこともあり、コンビニ交付が増えている。今後も周知を続けた

#### 証明書のコンビニ交付件数の推移は

# その議案に私は賛成、私は反対

## 3月定例会 採決状況

○賛成 ●反対 ⊖欠席 ⊕退席

議案番号	議案名と主な内容	1 村山 隆	2 須貝 勝司	3 田宮 昌幸	4 多田 慎二	5 斎藤 眞一	6 鈴木 徹雄	7 渡辺 博文	8 佐東 幸治	9 渡邊 史	議長 鎌上 徹
議第2号	令和7年度中山町一般会計補正予算(第7号)についての専決処分の承認について (⇒詳細は10ページ参照)	○	⊕	○	○	○	○	○	○	○	*
3号	令和7年度中山町一般会計補正予算(第8号)について 歳入歳出予算それぞれ2億4363万円減額し、総額を62億5734万9000円とする (⇒詳細は10ページ参照)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
4号	令和7年度中山町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について 歳入歳出予算それぞれ2697万8000円減額し、総額を11億8287万1000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
5号	令和7年度中山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について 歳入歳出予算それぞれ97万円減額し、総額を2億782万8000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
6号	令和7年度中山町介護保険特別会計補正予算(第4号)について 歳入歳出予算それぞれ3280万9000円減額し、総額を14億469万7000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
7号	令和7年度中山町下水道事業会計補正予算(第3号)について 国庫補助金、企業債、負担金、他会計補助金、他会計出資金、工事請負費、委託料、固定資産売却代金等の決算見込額により補正する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
8号	令和8年度中山町一般会計予算について 予算総額は歳入歳出それぞれ62億円とする 前年度比2億4300万円の増	○	○	○	○	⊖	○	○	○	○	*
9号	令和8年度中山町国民健康保険特別会計予算について 予算総額は歳入歳出それぞれ12億5962万1000円とする 前年度比1億1659万円の増	○	○	○	○	⊖	○	○	○	○	*
10号	令和8年度中山町後期高齢者医療特別会計予算について 予算総額は歳入歳出それぞれ2億3054万9000円とする 前年度比2854万4000円の増	○	○	○	○	⊖	○	○	○	○	*
11号	令和8年度中山町介護保険特別会計予算について 予算総額は歳入歳出それぞれ13億7499万2000円とする 前年度比245万8000円の増	○	○	○	○	⊖	○	○	○	○	*
12号	令和8年度中山町下水道事業会計予算について (⇒詳細は4ページ参照)	○	○	○	○	⊖	○	○	○	○	*
13号	中山町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について 中山町定員適正化計画の見直しに伴い、町職員の定数を104人から110人に改定するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
14号	中山町職員の育児休業等に関する条例及び中山町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の設定について 職員の育児等と仕事の両立を支援する環境を整備するため、部分休業制度を拡充するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
15号	特別職に属する者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 新たにスポーツ文化表彰審査委員会委員の報酬額を定めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
16号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定及び県人事委員会勧告に基づく県職員の給与改定を踏まえ、一般職の職員の給料表の改定を行うもの。また、管理職の職名として新たに「主幹」を新設するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
17号	中山町スポーツ振興基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の設定について 基金積み立ての資金となる寄付金が現在ないことや運用が行われていないことから基金の処分を予定しているため条例を廃止するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
18号	中山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 国民健康保険税の賦課限度額及び軽減判定所得金額の改正、子ども・子育て支援分の税率新設に伴い改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
19号	中山町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の設定について 「子ども誰でも通園制度」の開始にあたり、子ども・子育て支援法の規定に基づき、受入施設の運営についての基準を整備するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
20号	中山町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 「子ども誰でも通園制度」の開始にあたり、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の施行に伴い改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
21号	中山町子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例の制定について 「子ども誰でも通園制度」が開始されるにあたり、中山町子ども・子育て会議の審議事項に利用定員の設定を追加するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*

議案番号	議案名と主な内容	1 村山 隆	2 須貝 勝司	3 田宮 昌幸	4 多田 慎二	5 斎藤 眞一	6 鈴木 徹雄	7 渡辺 博文	8 佐東 幸治	9 渡邊 史	議長 鎌上 徹
22号	中山町火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について 山形市火災予防条例に林野火災注意報及び林野火災警報が位置づけられたことから、発令時における火入れの禁止及び実施中の消火義務を追加するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
23号	中山町監査委員の選任について 監査委員の任期満了に伴い、後任者を選任するにあたり議会の同意を求めるもの (⇒詳細は下記参照)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
24号	中山町農業委員会委員の任命について 農業委員に欠員が生じたことから、後任者を任命するにあたり議会の同意を求めるもの (⇒詳細は下記参照)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
25号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員の任期満了に伴い、新たに候補者を推薦するにあたり議会の意見を求めるもの (⇒詳細は下記参照)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
26号	第6次中山町総合発展計画後期5か年基本計画の策定について 2040年を見据えた町の将来像と、今後5年間の取り組みの方向性を示す、まちづくりの新たな指針となる第6次中山町総合発展計画後期5か年基本計画を策定するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
27号	山形連携中枢都市圏航空写真撮影及びデータ化業務に関する協定の締結について 航空写真図整備事業により、関係する6市町が航空写真の撮影とデータ化を共同で実施すること及び費用負担等について定めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
28号	地域活性化起業人制度による派遣に関する協定の締結について 中山町町民休養交流センター「ひまわり温泉ゆ・ら・ら」において、事業運営の効率化および収益性向上に関する課題の解決に取り組むことを目的に、株式会社BiGisland(ビギランド)と地域活性化起業人制度による派遣に関する協定を締結するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
29号	令和7年度中山町一般会計補正予算(第9号)について 歳入歳出予算は変更せず、繰越明許費を追加するもの 旧柏倉家住宅板塀復元工事について、急ぎよ対応が必要な工程が増加したことにより、年度内に完了が見込まれないことから、繰越事業とするもの	○	○	○	○	⊖	○	○	○	○	*

※注：前年度比は令和7年度当初予算との比較です ※注：議長は採決に加わりません。

## 人事案件

### 中山町監査委員の選任に同意

たんの 丹野 充氏  
(向新田 新任)

任期：令和8年4月1日～  
令和12年3月31日



### 中山町農業委員会委員の任命に同意

はなや 花谷 賢一氏  
(柳沢 新任)

任期：令和8年4月1日～  
令和10年3月31日  
(前任者の残任期間)



### 人権擁護委員 適任と答申

くどう 工藤 みゆき氏  
(岡 新任)

任期：令和8年7月1日～  
令和11年6月30日



## 請願と陳情(要望)

3月定例会に陳情2件が提出されました。

陳情 ※陳情(要望)については、議員への配付のみとしています。

- 臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情
- 全国一律最低賃金制の確立・時間額1500円実現とこれに見合う中小企業支援拡充により人口減少・流出に歯止めをかけるための意見書採択を求める陳情

# 一般質問

ここが聞きたい！

町政を問う

一般質問とは、議員が町の事務・事業の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを議員が問いたすものです。

質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。中山町議会では、質問時間は答弁と合わせて40分以内としています。

## 4人の議員が一般質問

3月定例会では、4人の議員が一般質問を行い、将来の町政について活発な議論を展開しました。

## 質問者(発言順)

### 佐東 幸治 議員 (12ページ)

- 町体制を維持するため、地域の役割はどうか

### 多田 慎二 議員 (13ページ)

- 「なぜなぜ大会議」の提案を実現するための伴走支援ができないか

### 田宮 昌幸 議員 (14ページ)

- 長年放置されている町有財産の活用は
- 民間主導の観光まちづくりを進める考えは

### 渡邊 史 議員 (15ページ)

- 在宅育児支援のその後  
多様な子育ての選択肢の保障へ
- ヤングケアラーの早期発見へ、学校と福祉の連携強化を

## 令和7年度一般会計補正予算(第7号)

### 衆議院議員総選挙費用を専決処分

増額 808万4000円 (1月20日付)

衆議院において、1月23日解散、1月27日公示、2月8日投開票との日程が示されたことから、衆議院議員総選挙費用について急ぎよ補正が必要となったため増額するものです。この専決処分についてこのたびの議会で承認しました。

## 令和7年度一般会計補正予算(第8号)

3月定例会で8回目の予算の見直しを行いました。児童手当の支給実績や委託料の実績見込みによる不用額の減額などを行った結果、歳入歳出予算をそれぞれ2億4363万円減額し、総額で62億5734万9000円とするものです。見直しの主な内容は次のとおりです。

### 避難所用備品を整備

増額 813万3000円

地域未来交付金を活用し、避難所用備品を整備するため増額するものです。整備する備品は災害時のほか、平時にも活用します。令和8年度への繰り越し事業となります。

整備内容	災害時の活用	平時の活用
暖房器具 10台	避難所の環境改善	学校施設および総合体育館での活用等
製氷機 3台	避難所の環境改善	学校施設および総合体育館での活用等
小型除雪機 1台	降雪時の速やかな避難所開設	公共施設での活用等
防災備蓄倉庫 3台	防災資機材の保管等	防災資機材の保管等

### ごみ処理費用を減額

減額 1786万円

ごみ収集委託契約の請差による不用見込み額(1149万8000円)、山形広域環境事務組合負担金の通知による不用額(636万2000円)を減額するものです。

## 令和8年 中山町議会 3月定例会 日程表

期日	会議	備考
3月4日(水)	本会議 (議員懇談会) (議会活性化特別委員会第1小委員会)	一般質問 議第2号 提案理由の説明、質疑、討論、採決 (報告) (付託案件調査)
3月5日(木)	本会議	議第3号~7号 各件毎提案理由の説明、質疑、討論、採決 議第8号~12号 一括提案理由の説明 議第13号~28号 各件毎提案理由の説明、質疑、討論、採決
3月6日(金) ~11日(水)	休会 (全員協議会) (総務文教常任委員会) (厚生産業常任委員会) (議会活性化特別委員会)	令和8年度当初予算に係る説明等、質疑(各課ごと) (所管事務調査) (所管事務調査) (付託案件調査)
3月12日(木)	休会 (治山・治水特別委員会)	(付託案件調査)
3月13日(金)	本会議 (全員協議会)	議第8号~12号 各件毎質疑、討論、採決 議第29号 提案理由の説明、質疑、討論、採決 議員派遣 閉会中の継続調査 (協議・報告)



さとう こうじ 議員 佐東 幸治

# 町体制を維持するため、地域の役割はどうするのか

町長 対話を重ね、協働のまちづくりを進めたい

問 町の「人づくり」は、単なる教育や人材育成ではなく、地域で暮らす一人ひとりが主体となって町を支え、育て・次世代へつないでいく力を育くむことを意味するのではないか。

答 人口が減少しても、地域や町を支える人が多ければ、「強く・たくましい町」をつくれると思いい、次のことを質問する。

(1)生涯学習の観点から、子どもたちが親や教育者だけでなく、考え方や価値観の違う、一般の町民とふれあう機会を増やす取り組みを進めることはできないか。

教育長 学校と地域をつなげるコーディネーター役となる「地域学校協働活動推進員」を2名雇用し、各分野の専門性を持つ町民の



地域の方を講師に迎え、わらじづくり(子ども教室)

方々を講師として迎え、子どもたちが地域住民と関わる機会を作っている。

また、「学校・家庭・地域の連携推進事業」として、農業体験や着物の着付け体験など、地域の方から学びふれあう機会を設けている。

今後も引き続き、子どもたちが、多くの町民と関わりながら学び、育つ機会の充実を図っていく。

問 (2)多くの人と関わりながら、大人自身が成長する機会を増やす政策を実施していく必要があると思うが、地域を支える「人づくり」の在り方を、どのように考えているのか。

町長 当町では、地域課題を自らの問題と捉え、主体的に行動できる人材の育成は不可欠と考えている。「地区要望会」や「区長懇談会」の実施によ



将来のまちづくりを話し合う「なぜなぜ大会議」

る、地域課題の解決に向けた取り組みや、「まちづくり推進事業補助金」による、各種取り組みを展開してきた。「人づくり」は短期間で成果が現れるものではなく、これからは、地域全体で育てるといふ視点を大切にしたい。

問 (3)国や県との連携もあるが、町内各地域

における今後の役割(役職)の在り方についてどのように考えているのか。

町長 今後の役割について、町民の皆さまと対話を重ね、協働によるまちづくりを進め、地域と一緒に進んで解決を考えていきたい。

### 私の思い

社会の変化に合わせて、町の役割も柔軟に変化してほしい。

問 第6次総合発展計画後期基本計画及び公共施設再配置計画の策定にあたり、町民の声を吸い上げる「なぜなぜ大会議」は画期的な取り組みだったと思う。報告書には既存施設の柔軟な活用や多世代交流の場の創出のほか、「自分たちで取り組めそうなこと」として、若者による情報発信など具体的かつ前向きなアイデアが多数あった。

答 これらを実現可能な「事業」へとするためには、町民が主体となって実行できるように、行政が「伴走支援」する仕組みを構築してはどうか。

町長 行政による伴走支援については、町民企画事業補助金「おらだのまち補助金」を有効活用していただきたい。

また、当然ながら担当課による技術的助言も積極的に行うなど、町も一緒になって課題解決に取り組む、「町民が住み続けたいまちづくり」へつなげていきたいと考えている。

問 実施に向けた具体的な手法や役割分担を協議する「深掘りワークショップ」を開催してはどうか。

総合政策課長 大会議は総合計画の見直し時期と、公施設再配置計画の基本構想策定のために開催した。予想以上にいろいろなご意見をいただいたこと、それをどうしていくかということについていろいろ検討できたことは非常に良かったと思うている。今後同じような形になるかは、今のところ具体的な計画はないが、いろいろな形を

考えながら、そうした場の創出というところに向かっている。

問 大会議での提案に対する行政の対応状況(採用・継続検討・見送りの理由等)を町民に広く公表し、進捗を「見える化」する仕組みを設けるべきではないか。

町長 町では毎年度、各事業の施策評価・事務事業評価を実施しており、PDCAサイクルの考え方を踏まえ、既存事業の振り返りや評価をするとともに、課題解決に向けた対応策を検討し、次年度の事業につなげていく循環型のスキームを構築している。その検討の中において、なぜなぜ大会議で出された課題解決に向けたアイデアも取り入れて議論していきたいと考えている。

問 事後の評価ではなく、大会議で出された意見が計画のどの部分にどう反映されたのか、もしくはどのような理由で実現が難しいのか。それらが見えないと、意見が最終的にどうなったのかわからない。「意見は出したから反映されているだろう」くらいの感覚になってしまふ。反映状況を公開できないのか。

総合政策課長 いただいた意見の結果がどうなったかという点は、非常に重要な部分であ

ると認識している。そうした内容を担当部署で整理し、お知らせしていきたいと思う。

### 私の思い

自分が出したアイデアが実現することで町がよくなるということは、第6次総合発展計画「人と人がつながる協働によるまちづくり」にもつながる。町民と町が一体となってまちづくりができればより良い町になると思うので、そういった仕組みづくりにも力を入れてほしい。



ただ しんじ 議員 田代 慎二

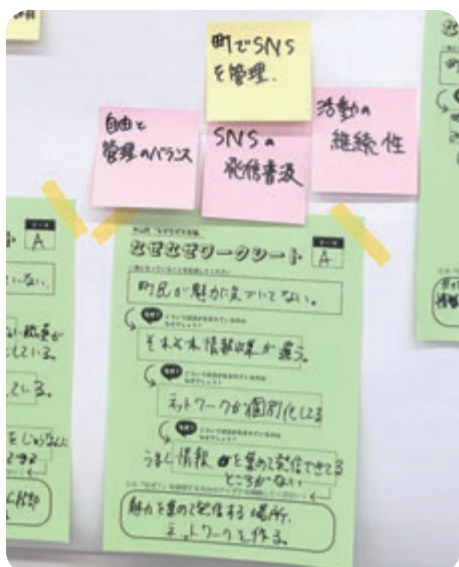
# 「なぜなぜ大会議」の提案を実現するための伴走支援ができないか

町長 「おらだのまち補助金」や技術的助言で支援する

町長 行政による伴走支援については、町民企画事業補助金「おらだのまち補助金」を有効活用していただきたい。

町長 行政による伴走支援については、町民企画事業補助金「おらだのまち補助金」を有効活用していただきたい。

町長 行政による伴走支援については、町民企画事業補助金「おらだのまち補助金」を有効活用していただきたい。



なぜ?を深掘りし、町民も一緒に取り組める解決策を提案



たみや まさゆき 田宮 昌幸 議員

## 長年放置されている 町有財産の活用は

### 町長 水害対策としても検討

**問** 「瀬ノ上道路等用地」500坪が、税収もない未利用財産となっている。今後の予定は。

**町長** 施設の誘致等も含めた開発のために、必要最低限の土地はこのまま町で保有し続ける。町有地と民有地を分けて考える必要があるが、用地の活用も考えていく。なお、県道長岡中山線に接し、要件を満たす土地については、令和8年度に分筆し、一部を宅地として売却したいと考えている。

**問** この土地は古川水門の近くにあり、洪水の都度冠水し、水害対策が必要な場所である。氾濫を防ぐ、減らす対策として活用する必要があるのでは。

**建設課長** 水害対策として

何かしらの施策も考えられるが、未利用の土地は町の税収になるよう売却できるところは売却する方針で考えている。

**問** 古川水門の近くに雨水貯留・排水施設などがあれば、あおば地区の浸水の心配がなくなると思うが。

**町長** 雨水貯留施設は特定都市河川のメニューにもあり、考えていかなければならぬ。水害の多い町であり、対策の1つとして検討していきたい。



氾濫が心配される古川水門

## 民間主導の観光まちづくりを進める考えは

### 町 文化庁の指導のもと、可能な範囲で

**問** 小学6年生から「旧柏倉家住宅の観光客増加を目指す」と町に対して、政策提案があった。「ひまわり迷路」も、小学生の政策提案が民間の協力で実現したもので、高校生になっても「郷土愛」を持ち続け、ボランティア活動を続けていく。

**町長** 文化・観光・経済の好循環のためにも、民間主導の観光まちづくりが必要である。旧柏倉家住宅の活用を民間に委託することで、年間を通しての企画・展示等が可能と思われる。そして、教育課は、文化財の保存・管理に専念できると考えるがどうか。

**町長** 地域の未来を担う若い世代が、郷土に関心を持ち行動していることは、心強く、その思いを大切にしたい。旧柏倉家住宅は、教育課を中心に文化財として適切な保存を行うことが最優先であると考えている。

**問** 旧柏倉家住宅を含む旧柏倉家住宅の観光客増加を目指す。民間に委託することで、年間を通しての企画・展示等が可能と思われる。そして、教育課は、文化財の保存・管理に専念できると考えるがどうか。

**町長** 地域の未来を担う若い世代が、郷土に関心を持ち行動していることは、心強く、その思いを大切にしたい。旧柏倉家住宅は、教育課を中心に文化財として適切な保存を行うことが最優先であると考えている。

旧柏倉家住宅を含む旧柏倉家住宅は、教育課を中心に文化財として適切な保存を行うことが最優先であると考えている。

**町長** もっと観光としての賑わい・活用をとの意見が出ているが、保存・活用計画は文化財として文化庁の指導のもと、防火対策など施設改修が必要である。現在は改修前の可能な範囲で活用している状態であることを理解してほしい。

**問** 教育課職員が、ライトアップなど休日出勤で対応しているが、保存・研究に専念して、活用を民間に委託した方が良いのでは。

**教育長** 教育委員会では保存中心に考えており、その中で新しい試みを行っている。

### 私の思い

国の重要文化財である旧柏倉家住宅は、町民の誇りである。中長期的な計画を基に保存・活用を実施し、子どもたちの夢を叶えたい。

## ※ ヤングケアラーの早期発見へ、学校と福祉の連携強化を

### 町 周知活動が肝要

**問** ヤングケアラーの現状と周知・相談支援体制は。

**町長** 現在のところ、当町においてヤングケアラーの疑いがある事例はないものと把握。把握経路は児童相談所、要保護児童対策協議会、こども家庭センターでの相談受付等である。

**問** 令和6年度に行った町のアンケートでは小学生保護者の約1・1%が「家族にヤングケアラーがいる」と回答しており、町の把握と異なる。愛媛県新居浜市の「つなぐシート」のようなチェックシートの導入を検討できないか。

**健康福祉課長** 教育委員会と連携し、今後は広報誌やホームページへの掲載を通じて周知をしたい。講演会の企画や、相談窓口の情報を

**健康福祉課長** 教育委員会や学校なども協議しながら、先進事例をもとに有用なものであれば導入も検討したいと考える。

**問** 2月末に、山形南高校でヤングケアラー周知のための講座が開かれ町内生徒も学んでいる。子ども自身がヤングケアラーと気づく機会は重要と考える。学校での啓発講演や町の相談窓口である、こども家庭センターの周知強化を求める。

**健康福祉課長** 教育委員会と連携し、今後は広報誌やホームページへの掲載を通じて周知をしたい。講演会の企画や、相談窓口の情報を

### 私の思い

在宅育児支援について、町民へのニーズ調査が実施されることになった。調査結果の活用にとどまらず、「なぜこの町にこの施策が必要か」信念を持った施策推進を願っている。ヤングケアラーについては、まず地域社会に認知を広めることが第一歩と考える。

※ヤングケアラーとは、家族の介護その他の日常生活上の世話を、過度に行っている子ども・若者のこと。



わたなべ ふみ 渡邊 史 議員

## 在宅育児支援のその後 多様な子育ての選択肢の保障へ

### 町長 既存施策で対応

**問** 在宅育児支援について、令和6年12月定例会において前向きな実施に向けての検討の答弁があったが、令和8年度当初予算に在宅育児支援の新規施策が盛り込まれていない。保育園等入園家庭との不均衡への認識と今後の方針を伺う。

**町長** 県内先行事例はいずれも待機児童対策としての意味合いが強く、待機児童ゼロの当町とは状況が異なる。そういった状況下においても、是正すべき不均衡が生じているとは言えないと考える。当面は4月開始の「こども誰でも通園制度」や既存の産後ケア等の充実で対応していく。

**問** 先行事例の目的は令和6年12月定例会時点で既に調査済みだった。町がどのような目

的で実施するかは、別の問題である。町民へのニーズ調査は実施したのか。  
**健康福祉課長** 一般の町民の方へのニーズ調査は実施していない。今後は乳児健診等の機会を活用して、質問内容に配慮し意見を伺いたい。

**問** 保育園等では給食費無償化も始まり、在宅家庭への経済支援がない不均衡は益々大きくなっていく。人づくりの観点からも在宅育児を応援すべきではないか。

**健康福祉課長** 在宅育児の選択は尊重するが、経済的支援の要否については多角的な検討が必要と考えている。引き続き負担軽減に資する選択肢の提供を検討していく。

# 議会はどんなことをしているの？ 議会活動報告

## 議会ダイアリー

※【 】内は参加者 ※議会全体の主な動きを抜粋して掲載しています。

### ● 1月 (前号掲載以降)

19日 小正月、園児とともに豊作祈願【議長】  
議会運営委員会【委員、正副議長】  
全員協議会【議員】  
町議会1月臨時会【議員】

⇒関連記事 P 16

27日 柏倉家住宅保存・利活用特別委員会  
【委員、議長】 ⇒関連記事 P 20  
議員懇談会【議員】  
議会活性化特別委員会第1小委員会  
【委員】

### ● 2月

1日～22日 議会だよりミュージアム  
⇒関連記事 P 24

2日～3日 議会広報常任委員会視察研修  
【委員】 ⇒関連記事 P 21

13日 県議長会 定期総会【議長】

15日 東京中山会ふるさとの集い  
【議長、議員2名】

17日 全員協議会【議員】  
議会活性化特別委員会第2小委員会  
【委員】

18日 山形広域環境事務組合議会定例会  
【派遣議員】 ⇒関連記事 P 22

19日 議会運営委員会【委員、正副議長】

20日 厚生産業常任委員会(石ころ会との意見交換会)【委員】 ⇒関連記事 P 2～3

28日 旧柏倉家住宅 冬の特別公開 開会式  
【議長】

2月中 議会広報常任委員会(1回)【委員】

### ● 3月

4日～13日 町議会3月定例会【議員】

⇒関連記事 P 4～15

4日 議会活性化特別委員会第1小委員会  
【委員】

議員懇談会【議員】

6日、9日～11日 全員協議会【議員】

6日 総務文教常任委員会【委員】

⇒関連記事 P 19

9日 厚生産業常任委員会【委員】

⇒関連記事 P 19

10日 総務文教常任委員会【委員】

⇒関連記事 P 19

11日 議会活性化特別委員会【委員、議長】

⇒関連記事 P 18

12日 治山・治水特別委員会【委員、議長】

⇒関連記事 P 20

13日 全員協議会【議員】

14日 中山中学校卒業式【議員】



18日 長崎小学校、豊田小学校 卒業式  
【各地区の議員】

最上川中部水道企業団議会定例会

【派遣議員】 ⇒関連記事 P 22

20日 2026柏倉九左衛門家ひなまつり開会式  
【議長】

3月中 議会広報常任委員会(計2回)【委員】

### ● 4月 (一部)

8日 中山中学校入学式【議員】

9日 長崎小学校、豊田小学校 入学式  
【各地区の議員】

4月中 議会広報常任委員会(計3回)【委員】

## 1月臨時会

# 重点支援地方交付金の活用について

## 物価高騰対策商品券事業など原案どおり可決

1月19日、令和8年第1回臨時会が開催され、令和7年度中山町一般会計補正予算(第6号)が原案のとおり可決されました。

今回の補正予算の主な内容は、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するため、国から配分される重点支援地方交付金をもとに町で実施する事業について、必要な予算を増額するものです。

実施される主な事業は下記のとおりです。

### ● 物価高対応子育て応援手当支給事業 3080万円(令和7年度に実施)

物価高の影響を特に強く受けている子育て世帯を支援するため、子ども1人当たり2万円を支給するものです。

### ● 物価高騰対策商品券事業 1億3000万円(令和8年度へ事業を繰り越し)

物価高騰の影響を受けている町民生活の支援と地域経済の活性化を目的に、全町民1人当たり1万2000円の商品券を配付するものです。

### ● 中山町賃上げ促進支援金 2000万円(令和8年度へ事業を繰り越し)

町内中小企業の賃上げの環境整備を支援するため、3%以上の賃上げを実施した場合、労働者の数に応じて一定の支援金を支給するものです。

### ● 農業経費高騰対策支援事業 2000万円(令和8年度へ事業を繰り越し)

農業経費の負担を軽減するため、一定条件を満たす農業者に対し、農業経費の4%分を補助するものです。



## その議案に私は賛成、私は反対

### 1月臨時会 採決状況

○賛成 ●反対 ⊗欠席 ⊕退席

議案番号	議案名と主な内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		村山隆	須貝勝司	田宮昌幸	冨田慎二	斎藤眞一	鈴木徹雄	渡辺博文	佐東幸治	渡邊史	鎌上徹
議第1号	令和7年度中山町一般会計補正予算(第6号)について 歳入歳出予算それぞれ2億2309万5000円増額し、 総額を64億9289万5000円とする	○	⊗	○	○	○	○	○	○	○	*

## 令和8年 中山町議会1月臨時会日程表

期日	会議	備考
1月19日(月)	(全員協議会) 本会議	議第1号 提案理由の説明、質疑、討論、採決

次回の定例会は **6月10日(水)～12日(金)** の予定です。

お問い合わせ：中山町議会事務局 ☎023-662-4370

### 国・県等の事業を活用し、いかに財源確保するか

総務文教常任委員会（委員長：田宮昌幸）

3月6日および3月10日に総務文教常任委員会が開催され、12月に提出した「政策提言書」の項目について、所管課担当から現状等の説明を受けました。

3月6日、総合政策課より「町の課題解決に向けた国・県等事業を活用した財源確保について」の説明を受けました。委員からは、現場の町職員も積極的に国・県へ要望していくこと、そして議会も協力していく必要があるとの意見が出されました。また、政策効果がないものは、やめるのも一つの有効なお金の使い方であるとの考え方も提案されました。

3月10日、教育課より「不登校対策等について」の説明を受けました。全国的に不登校児童・生徒が増えており、委員会では事前に実態および対策などの資料を依頼し、意見交換を行いました。

#### 不登校児童・生徒数の推移（中山町内の小中学校）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
合計	16	16	18	6

※「不登校」とは病気や経済的理由を除き、年間30日以上欠席している状態  
※山形県いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題に関する実態調査より

学校に登校できない理由にはさまざまな要因があり、生活リズムの乱れによる体調不良なども増えていると説明がありました。対応策としては、スクール・カウンセラーや教育相談員の配置、教職員全体研修会の実施などを行っているとのこと。また各学校では、子ども一人ひとりの良さを大事にした指導にあたっているとの説明がありました。

議会としては、今後も注視して継続調査を行ってまいります。

### 旧「まるっと」の活用に向けて

厚生産業常任委員会（委員長：鈴木徹雄）

3月9日、厚生産業常任委員会を開催し、継続調査となっていた旧「まるっと」の活用について、説明を受けました。

現在の使用状況については、平日は地域おこし協力隊の研究・作業拠点として活用されているほか、スマホ相談所や子ども向けデジタル体験型ワークショップの会場として利用されています。（写真下）



レクチャーの後、みんなで最上川河川敷に撮影へ（3月28日 写真ワークショップ こどもカメラマンデビュー）

一方で観光協会事務所としての利用に向けた地域活性化起業人による実証結果では、夏季・冬季ともに適正な室温の維持についてや、外部者の出入りが可能な構造のため、情報セキュリティの確保が困難などの課題が報告されました。そのため、課題解決には大規模な改修が必要となり、現状では本格活用は困難と判断したとの説明がありました。

今後の活用方針として、「産業振興に資する用途」を基本とし、「維持管理費とのバランス」を考慮して検討するとの考えが示されました。

これに対し委員からは、「計画性を持って検討すべきだ」「産業振興課内での活用が難しければ、他課での活用も視野に入れてはどうか」との意見が出され、引き続き調査することとなりました。

### より身近な議会へ 傍聴規則をリニューアル

議会活性化特別委員会（委員長：須貝勝司）

3月11日、議会活性化特別委員会が開催され、第1・第2小委員会がこれまで重ねてきた議論を集約し、協議を行いました。また、傍聴規則の改正については、3月13日に開催された全員協議会で承認されました。

#### 議会活性化レポート① 子どもと一緒に傍聴がよりスムーズに

時代に即した開かれた議会を目指し、傍聴規則を改正しました。

これまで必要だった児童や乳幼児の傍聴許可が不要になったほか、中山町独自の規則として、合理的な配慮に関する規定を追加しました。今後も傍聴しやすい環境づくりを進めてまいります。

中山町傍聴規則抜粋(改正前)	中山町傍聴規則抜粋(改正後)
(傍聴席に入ることができない者) 第7条 次に該当する者は、傍聴席に入ることができない。 1～3 省略 4 児童及び乳幼児は、傍聴席に入ることができない。ただし、議長の許可を得た場合は、この限りではない。	(傍聴席に入ることができない者) 第7条 次に該当する者は、傍聴席に入ることができない。 1～3 省略 4 (削除)

#### 議会活性化レポート② 子ども向け議会のしおりが完成

2月にほんわ館で開催した「議会だよりミュージアム」で、子ども向け議会のしおり「町議会ってなあに？」を展示しました。来場者の皆さまからいただいた「ふりがなを増やしてほしい」「イラストを多く」といった貴重なご意見を反映し、より親しみやすいしおりとなりました。ご協力いただき、ありがとうございました。今後は、小学生の役場見学などでの活用を予定しています。



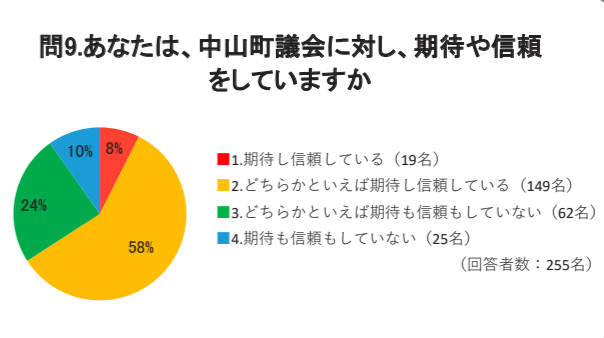
公式HP 該当ページ

#### 議会活性化レポート③ 町民アンケート報告書が完成

令和7年7月に実施した「議会活動に関する町民アンケート」の結果分析が完了しました。抽出された課題に対し、具体的な解決策を報告書として取りまとめています。今後はこの結果を軸に、より身近で開かれた議会に向けて具体的に取り組みを進めてまいります。



公式HP 該当ページ



## 先進地に学ぶ 議会広報視察研修

議会広報常任委員会（委員長：多田慎二）

2月2日・3日、山形県最上町議会と秋田県横手市議会を視察し、広報紙づくりの工夫を学びました。最上町議会は全国表彰も受けた注目の自治体です。「議会は何を伝えたいか」「住民は何を知りたいか」を常に考え、住民主体のまちづくりを後押しする紙面づくりから多くの気づきを得ました。

	最上町（山形県）	横手市（秋田県）
表紙・デザイン	 町民登場コーナー「私の想い」と連動した写真を表紙に掲載	 市内の中学生や高校生の美術作品を掲載。議会のマスコットキャラクターも活躍
住民参加・声の反映	特集「みんなの議会」で町民の声を掲載。WEBアンケート実施	高校生や市民のモニター会議を開催。Y8サミット（中学生模擬議会）への議会関与も
届ける工夫・他媒体	全戸配布に加え、学校・銀行・駅など町内各所に配置	FacebookやFMラジオ（議員出演・中高生インタビュー）を活用



記事に関する町民の意見を度々掲載しています（最上町）



マスコット「しらとり議員」が紙面に登場し解説（横手市）

最上町の「町民の想いを引き出す工夫」、横手市の「中高生など若い世代を巻き込む姿勢」は、どちらも一方的な報告にとどまらない素晴らしい取り組みでした。

## 柏倉家の令和8年度に向けて

柏倉家住宅保存・利活用特別委員会（委員長：多田慎二）

1月27日、令和8年度予算に向けて、柏倉家住宅保存・利活用特別委員会が開催されました。

当住宅の理解促進を図っていくために、必要不可欠な予算を計上し、労務単価等の物価高騰の影響を踏まえた予算案として説明がありました。

### 歳入

項目	令和8年度当初	令和7年度当初	説明
①使用料	90万8000円	90万8000円	九左衛門家入館料、惣右衛門家利用料
②基金繰入金	2007万円	4263万円	ふるさと応援基金繰入金
③雑入	7万5000円	5万円	竹の子売却
計	2105万3000円	4358万8000円	

### 歳出

項目	令和8年度当初	令和7年度当初	説明
①施設管理事業	1258万1000円	1117万7000円	維持管理に必要不可欠な経費
②修繕事業	288万3000円	2781万8000円	施設修繕の経費
③公開事業	558万9000円	459万3000円	一般公開、パンフレット等の経費
計	2105万3000円	4358万8000円	

全体的に人件費や資材の高騰により経費が増加している。

令和7年度に旧柏倉家住宅の板塀修繕を予算化していたが、工事途中で水の排水不良という新たな問題が発生し、今年度中に終了しないため、次年度へ繰り越すとの説明がありました。

## 安心・安全なまちづくりに向けて

治山・治水特別委員会（委員長：佐東幸治）

3月12日、山形河川国道事務所の副所長と流域治水課長を迎え、治山・治水特別委員会を開催しました。

最初に最上川緊急治水プロジェクトによる最上川の河道掘削や堤防整備の進捗状況、石子沢川の堆積土砂の撤去状況について報告がありました。

令和8年度の事業としては、川の水位を予測し、水位が上昇する前にポンプを作動させる「事前排水」の検討をしていくことや、雨水を一時的に貯留する機能を有する土地の区域について「貯留機能保全区域」としての指定を目指し、調整を進めていく方針が示されました。

また、危険をいち早く伝えるため、石子沢川排水機場の稼働状況を示すパトランプを設置します。さらに、あおば地区および長崎地区に令和2年7月洪水の実績浸水深を示す看板を設置

し、日頃からの防災意識向上を目指していくとの説明がありました。

委員からは貯留機能保全区域指定に伴う補償やため池の有効活用についての意見が出されました。

これからも積極的に意見交換を重ね、安心・安全なまちづくりを進めていきます。



石子沢川排水機場パトランプ点灯システム  
赤色…最上川の水位が計画高水位を超過し、排水停止  
黄色…石子沢川排水機場が稼働





「議会だより」を町民の皆さまに興味を持って読んでもらえる内容にするため、感想・意見をいただいている「広報モニター」の声をご紹介します。「広報モニター」は随時募集中です。ご興味のある方はお問い合わせください。

第36号から



- こういうイベントがあったんだと感激、とてもかわいい表紙にほっこりしました。
- 一般質問は、大変見やすくまとめられています。質問者をそれぞれのイメージカラーに分け、表示しても良いと思います。
- 議会活動報告は、専門的な話が多く、気軽に読めるようもう少し簡略化しても良いと思いました。
- まち・ひとインタビューについて、いつもすばらしい人選ありがとうございます。これからも中山町を愛する人をご紹介します。

議会だよりについて懇談会を実施しました

3月26日、議会広報文章アドバイザーと広報モニター等6名の方と議会だよりについての懇談会を開き、令和7年度に発行した第33号から第36号のなかやま議会だよりを振り返りながら、貴重なアイデアやアドバイスをいただきました。その一部をご紹介します。

- 議案などに対する「町民の生の声」をぜひ載せてほしい。
- 録画配信や過去の議会だよりの閲覧ができる二次元コードについては、掲載の場所を固定してほしい。
- 内容が濃く読み応えがあるが、ページ数はこれ以上増えない方がいい。もっとしぼって掲載してもいいと思う。
- 町広報との連携をもっと密にして、掲載内容を工夫してほしい。

いただいたご意見は引き続き委員会で検討していきます。今後ともご協力をよろしくお願ひします。また、ご意見、要望などありましたら、どなたでもお気軽にご連絡ください。

ご意見、ご感想をお待ちしております。

連絡先：議会事務局 TEL：023-662-4370  
FAX：023-662-2538

ご意見投稿はこちらから



2市2町 イベント情報

山形市・上山市・山辺町・中山町

①とき ②ところ ③内容 ④問い合わせ

※イベントは予告なく変更になる場合があります。

薬師祭植木市

- ① 5月8日(金)～10日(日)
- ② 山形市(薬師公園付近)
- ④ 薬師祭植木市実行委員会 (山形商工会議所内) TEL023-622-4666

山形ワインバル

- ① 5月16日(土)・17日(日)
- ② 上山城周辺
- ④ 上山市観光物産協会 TEL023-672-0839

山形紅花まつり

- ① 7月上旬の土日いずれかの2日間
- ② 高瀬紅花ふれあいセンター
- ④ 山形紅花まつり実行委員会 (高瀬紅花ふれあいセンター内) TEL023-686-3341

第33回全国かぶと虫相撲大会

- ① 7月20日(月・祝)
- ② 中山町総合体育館
- ④ 中山町観光協会 TEL023-662-2114

2026柏倉九左衛門家紅花まつり

- ① 6月27日(土)・28日(日)
- ④ 2026柏倉九左衛門家紅花まつり実行委員会事務局 TEL023-662-2175

むらきざわあじさいまつり

- ① 6月下旬～7月中旬頃
- ② 山形市(出塩文殊堂周辺)
- ④ 村木沢地区振興会・あじさい祭り実行委員会(あじさい交流館内) TEL023-643-2050

スマイルプロジェクト★かみのやま

- ① 7月25日(土)
- ② 三友エンジニア体育文化センター 市民総合運動広場
- ④ 上山青年会議所 TEL023-672-7721

令和8年度予算 中山町負担金は1億550万1000円

山形広域環境事務組合議会

2月18日、山形広域環境事務組合議会2月定例会が開催されました。最初に、当町からの選出議員について、村山隆議員の辞職に伴い佐東幸治議員が就任したため、議席の指定が行われました。

その後の審議では、上程議案の2件が原案どおり可決されました。

●議第1号 令和7年度山形広域環境事務組合補正予算について

前年度からの繰越金の精算や歳入歳出の見込みによる補正などで1570万円の減額となり、中

山町の負担金は636万2000円減額の9813万6000円となりました。

●議第2号 令和8年度山形広域環境事務組合予算について

一般廃棄物の適正な処理と施設運営に必要な経費を計上し、令和7年度当初予算と比較し、3378万5000円増額の36億3817万1000円となりました。

廃棄物処理手数料、資源物売却収入、売電収入などを差し引いた、2市2町の負担金は27億394万7000円となり、そのうち中山町の負担金は1億550万1000円です。

安心・安全、持続可能な水道事業予算

最上川中部水道企業団議会

3月18日、令和8年第1回最上川中部水道企業団議会定例会が開催され、上程された議第1号から議第5号および発議第1号議案について、すべて原案どおり可決されました。

- |      |       |  |
|------|-------|--|
| 提出議案 | 議第1号  | 令和7年度最上川中部水道企業団事業会計補正予算(第3号)について                       |
|      | 議第2号  | 最上川中部水道企業団特別職の職員等の旅費、費用弁償及び実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
|      | 議第3号  | 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について              |
|      | 議第4号  | 令和8年度最上川中部水道企業団事業会計予算について                              |
|      | 議第5号  | 最上川中部水道企業団監査委員の選任について                                  |
|      | 発議第1号 | 調査派遣に関する議決について   |

令和8年度の給水事業の予定量

	令和8年度	令和7年度
給水戸数	9123戸	9110戸
年間総有収水量	2167千m <sup>3</sup>	2299千m <sup>3</sup>
一日平均給水量	6975m <sup>3</sup>	7266m <sup>3</sup>

令和8年度最上川中部水道企業団事業会計予算

水道事業収益	6億2521万2000円
水道事業費用	5億7378万7000円
資本的収入	718万3000円
資本的支出	2億9324万5000円

不足額は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんする。

また、山形市議会井上議員より、①長期財政計画について、②最上川中部水道企業団の「料金水準」と「耐震化事業」についての一般質問がありました。

今後の投資と料金の関係で、企業債を使わず平準化に努め、今のところ水道料金の値上げは予定しないとの答弁がありました。

自治功労者表彰

議長5年以上 **鎌上 徹** 議長

多年にわたり町議会議長として地方自治の振興発展に寄与された功績に対し、山形県町村議会議長会より表彰されました。このたびの受賞、おめでとうございます。



今回、「まち・ひとインタビュー」・「楽しい仲間たち」は休載します。

# 特集 議会だよりミュージアム開催報告

2月1日から22日まで、町立図書館「ほんわ館」で「議会だよりミュージアム」を開催しました。会場には子どもから大人まで幅広い世代が訪れ、議会へのご意見に加え、町への思いや未来への願いなど、さまざまな声が寄せられました。

詳細は  
こちらから



## 皆さまから寄せられた声（一部）

### 高校生から



「ちっちゃくって、ほんわりしててゆっくりーなこの中山が好き！」

「自然あふれる『ちよい田舎』を活かしてほしい」

「自慢できて、ずっと存在し続けてほしい故郷」

町の未来を真剣に考えた声も寄せられました。



### 町民の皆さまから

「この町のこんなところが好き」

という温かい声や、

「議会だよりに子どもや子育て世代向けのコーナーはどうか」

など、議会だよりへの具体的なご提案もいただきました。

### 子どもたちから

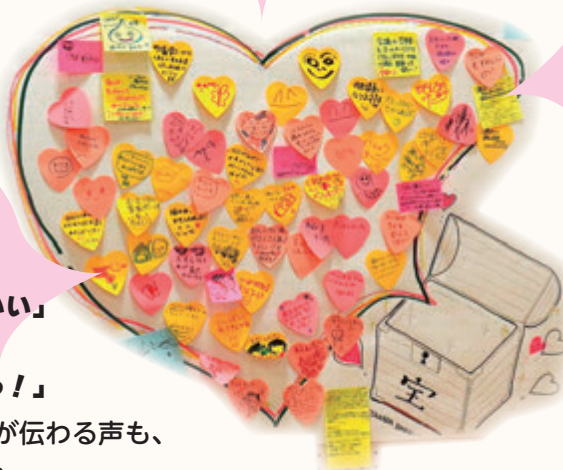


「おもしろかった、またやってほしい」

「しあわせがたくさんうまれる町がいい」

「いつもいろいろな本をだしてくれてありがとう！」

など、ほんわ館への愛着が伝わる声も、たくさん寄せられました。



▲親子で議会に親しむ機会に

会場には多くの皆さまにご来場いただき、メッセージボードには約70枚の付箋が寄せられました。子どもたちをはじめ、さまざまな世代から町への思いや議会だよりへの声が集まり、住民の皆さまの声にふれる貴重な機会となりました。

## まとめ

寄せられた声からは、町への愛着や将来への願いが多くうかがえました。こうした思いを大切に受け止め、今後の議会活動や広報の充実につなげてまいります。

## なかがやま 議会だより No.37

発行日：令和8年5月1日  
発行：中山町議会  
発行責任者：議長 鎌上 徹

〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地  
TEL:023-662-4370 FAX:023-662-2538  
E-mail:gikai@town.nakayama.yamagata.jp

印刷：大場印刷株式会社

録画配信は  
こちらから



町公式HP

過去の議会だよりは  
こちらから



町公式HP



SideBooks  
アプリ

【議会広報常任委員会】委員長：多田慎二 副委員長：渡邊史 委員：村山隆 田宮昌幸 佐東幸治

皆さまのご意見、ご感想など、お寄せください。次回第38号の発行は7月15日です。